

— 御挨拶 —  
矢追インパクト療法(YIT)学会  
会長になって

東京渋谷 山脇診療所

山脇 昂

「アレルギーの臨床」に矢追博美先生が長らく投稿しておられました。不肖私が矢追インパクト療法学会の会長を引き継ぐことになりましたのでよろしくお願ひいたします。私も20年以上この療法を、色々なアレルギーによると思われるような疾患にも良く効くので、駆使してまいりました。矢追先生は遺稿集「平成医新平成27年11月20日北隆館発行」でも色々なアレルギーとは関係ないような疾患にも著効することを示されました。又健康者に比べてアレルギー体質の子や大人は①よく色々な病気をする。②(アレルギー性疾患など)よく同じ病気を繰り返す。③症状が派手である。④症状がすぐ悪化する⑤病気が中々治らない(瘢痕を残したりしやすい。)という特徴に気付き“汎アレルギー状態 Pan Allergenic State (PAS)と名づけ、アレルギーを「生体の“総合防衛システム機能 Total defensive System (TSS)が正常の域から逸脱して悪循環し、自ら元に戻りにくくなった不調な状態」と考えた。

私は小児科を標榜していませんので、小児の喘息・アトピー性皮膚炎・アレルギー性鼻炎等にはほとんど経験ありません。お年寄りの糖尿病・呼吸困難・皮膚病・関節痛・腰痛・筋肉痛・炎症による腫脹等に良く効くので、その方面で主に使用しております。整形外科方面で発表してきたのですが、筋肉のことは考えず、骨のことはばかりが心中にある整形外科医には信じられないのか査読で不採用になってしまうようになり学会発表もおろそかになっています。私は主張しますが、この療法は整形外科医には考えられない、アレルギーとも関係なく、筋肉を強く丈夫にする世界で最も良い方法だと思います。矢追先生も「何にでも効くというマスコミ受けのする論文だと日本医事新報社から掲載を断られてしまうようになった」と平成医新に書いておられます。

ここで(アレルギーの臨床紙面で)少しずつ私の臨床経験を発表したいと思ひます。この療法はアレルギー性疾患の根本的治療法として保険診療で行われている減感作療法を、更に安心・安全のために、その欠点を工夫・改善・改良し、自然にやさしくした、エコな、減感作療法で使われて

いる50%グリセリン液で更に超微希釈した液を0.005cc程度皮内注射する方法です。数個~数十個注射しますが、安全性という面では、すでに人間に皮内注射として使用されていますから、動物実験等は免除されるものと思いますが、牛・馬・犬等の動物に遣っても効くと矢追先生は書いておられます。私もサラブレッドに1回やった経験があります。馬の前から観察していた人が言うには、目が大きくなったそうです。矢追先生はこの小滴をホルモンやビタミンと同列に考え、インパクトタン (impactan) と名づけました。そしてそれはアレルギーに悩む人でなくとも「生体は“適度な刺激”を“適度な間隔”で“繰り返し受ける”ことで、自ら健全な心身の状態を維持増進することができる」という矢追インパクト療法充電理論 Yai Impact Charging Theory (YICT) にたどり着きました。更にこの療法前後で患者さんのリラゼーションがもたらされ、アドレナリン、ノルアドレナリン、セロトニン、ドーパミン、DHEA-Sなどの神経伝達脈管作動性物質 Neurotransmitter Vasculoactivator (NTVA) が短時間に増加することを採血により、私費2億円を投じてしらべられた。脳波検査でもα波が増加するのを証明された。

私が遣っても、ごく普通でアレルギーなどに困ってなくてアレルギーを自覚していない人に遣っても、遣るときは注射ですから怖がり、沁みると言って痛がりますが、直後から特にメタボの傾向のある人が「気分が良くなった」(体がしゃんとした)「体が温かくなった」(目がはっきりした)と言ひます。事実この注射の前後で身長を測定してみると数ミリ~数cm伸びています。又前後の表情・目の大きさ(開き具合)を写真に撮ると開大し変化しています。これは体の歪みが矯正されたと考えます。この沁みるという現象が大切なのです。沁みて瞬時に全身に広がるということが、抗酸化作用なのです。抗酸化作用は「若返り」を齎します。この沁みるという程度の強さが莫大になるとアナフィラキシー現象を起こすのではないかと考えています。「皮内刺激とは神経軸索反射が起こります。超微希釈していますからアナフィラキシーにまでは至らず、適度な刺激になり、劇的効果をもたらす」と考えます。そして2週間間隔で遣っていると、「爪の伸びが速くなった」(髪の毛の伸びが速くなり太くなった)「皮膚の肌理が細かく白くなった」(体温が上がった)「良く寝れるようになった」(目がはっきりして物が良く見えるようになった)「疲れなくなった」など申ひます。1日中PCを操作されているVDT障害のあるなど、肩こりの強い女性に遣ると次の日(私熟

## ◆「アレルギーの臨床」に寄せる◆

睡じゃなく爆睡しました〉〈目がよくなり疲れなくなりました〉と良く言われます。体温が上がるというのはサーモグラフで証明できます。基礎体温が上がると、筋肉が柔らかくなり、良く動くようになり、関節の強張りが取れるから色々な関節疾患に効くのだと思います。関節リュウマチには良く効きます。エンブレ注射とか、MTXとか飲んで必要はなくなります。基礎体温が上がるといことは筋肉内の脂肪酸が燃焼することですから、運動すると等しいことになり、よく〈運動しろ運動しろ〉と糖尿病の人に指導しますが、この皮内注射が運動療法の代替療法になる、寝たきりの人にも運動療法になり、リハビリテーションになり得ます。糖尿病の人にインシュリンを打っても体は温かくなれない。この療法は体が温かくなる。とするとインシュリンより優れている、と言えなくもないのです。数か月やっているうちに血中中性脂肪が減少してきて正常値になります。HbA1cも落ちてきます。このような現象が起こるにはエネルギーが必要です。患者さんには良く食べてください。エネルギーが足りないと空焚き状態になり、すぐく疲労感にさいなまれますよと患者さんに言います。このようにアレルギーの人は勿論アレルギーでない人にも良く効くよう、一般に行われている、余り顕著な効能がなく、危険性の大きい減感作療法から格段に矢追インパクト療法は進化していると思います。

### この療法から類推できる治療可能な疾患・実際治療した疾患

#### 〈爪の伸びが速くなった〉

ヘバーデン結節・指先の洗剤による肌荒れ、外傷等による潰瘍癬痕等・手指の腱鞘炎・手根管症候群・関節リュウマチ・無菌性アキレス腱周囲炎・外反母趾・踵骨棘・足底腱板炎・前距腓靭帯損傷・魚の目・胼胝腫・種子骨炎等

#### 〈髪の毛の伸びが速くなり太くなった〉

円形脱毛・老化性脱毛・完全脱毛・老人性脂漏性湿疹等。頭部への皮内注射は頭髮だけでなく、脳そのものにも好刺激を与えます。うつ病・パーキンソン病・認知症等に好影響を与えます。正常の脳へも好刺激となります。きっと難病にも効くと思います。

#### 〈皮膚の肌理が細くなった〉

アトピー性皮膚炎・自家感佐性皮膚炎・帯状疱疹とその後の神経痛・掌跖膿包症・全身掻痒症等

乾癬症には長期間必要で、全身性エリテマトーデスにはほとんど反応しませんでした。アトピー性皮膚炎に特化した治療法ではありません。アトピー性皮膚炎も大きな治療枠の中の1つなのです。

#### 〈体温が上がった〉

糖尿病・冷え性・鼻アレルギー・バージャー氏病・肩こり・むち打ち症・ぎっくり腰・腰椎椎間板ヘルニア・脊柱管狭窄症・骨粗鬆症・坐骨神経痛・円背亀背等 骨ではなく、筋肉を刺激します。姿勢保持筋がきちっと働けば、椎骨への負担は軽くなり、ヘルニアも収まり、椎骨は自然に修復へと向かいます。痛みも軽減消失へと向かいます。

#### 〈良く寝れるようになった〉

不眠症・睡眠時無呼吸症候群・うつ病・パーキンソン病・神経症・慢性疲労症候群等

#### 〈目ははっきり明るく見えるようになった〉

眼瞼下垂・老化性眼裂狭小・動眼筋麻痺・斜視・眼精疲労・ドライアイ・涙目・眼瞼痙攣・緑内障・シーグレン症候群等 網膜剥離・黄斑変性症等にも挑戦してみたいです。

#### 〈呼吸困難〉

心筋梗塞・狭心症・打ち身骨折などによる胸の痛み・心臓震盪・胸郭震盪・シートベルトによる急激な胸の締め付け・激しい咳・長期間続く強烈なシャクリ等 胸郭は多くの関節で成り立っており、呼吸困難とは何か大きな無理が加わると、多くの関節がロックしてしまうことだと言う事がわかります。その関節ロックを急速に解除するにはこの方法が最適です。救急にも役立ちます。

#### 〈蠕動運動の亢進〉

弛緩性便秘と腹痛や腸閉塞・腹部術後の癒着傷害・食物アレルギー・化学物質過敏症・逆流性食道炎・慢性胃炎等

この現象はサナダムシを自分のお腹の中に飼っていた有名な藤田絢一郎先生に教えてあげたい気がします。腸内フローラの善玉菌を増やすにもこの方法はすぐれていると確信します。

#### 〈筋肉が柔らかくなった〉

姿勢の矯正・脳卒中後の手足の硬縮・変形性膝関節症・股関節症・肩関節痛・関節リュウマチ・頸部関節痛等諸関節痛 リハビリテーションに最適です。